



# 人権教育推進通信

発行:地域人権教育ネットワーク研究会(事務局:長野県教育委員会事務局中信教育事務所生涯学習課)

## 人権教育の視点をもって生涯学習の強みを生かす

新型コロナウイルスの状況に気を配りながらも感染対策を講じながら社会経済活動を止めないように生活するようになりました。今年度は人権学習会や研修会の講座依頼が増えました。

人にやさしい地域づくりを進めるためには、自分自身の人権感覚を見つめ直し、高める機会を継続的に設けていくことが大切です。

今年度は市町村訪問の際に紹介していただいたいくつかの事業を見させていただく機会がありました。その中には、人権教育の視点をもって分野を超えた連携をしている好事例がありました。「社会教育」のコミュニティスクールの活動の中に多世代交流の視点を取り入れた木祖村の「すくすく大学」(後述)。公民館と学校が連携して小学生と地域住民が関わりながら共に学ぶ王滝村の「わくわく人権みんなの樹業」。

### 分野を越えた連携

- ・ **社会教育** × **社会人権教育**
- ・ **社会人権教育** × **スポーツ振興**
- ・ **スポーツ振興** × **社会教育**

### 2 生涯学習課のお仕事

**社会教育** × **社会人権教育**

#### 王滝村 わくわく人権 みんなの樹業

王滝村が行っているコミュニティスクール人権教育の視点を取り入れて、公民館長が授業



希望する村民も参加して子どもと大人と一緒に学ぶ(この日は長野県立大学の学生も参加)

人の話を聴いて 考えて 発表する  
この繰り返して人権感覚を磨こう!!

生涯学習は生涯にわたる学びを支えることに意義があります。担当分野が違えども、地域の方の継続的な学びを目的としている生涯学習の強みを生かして、連携をしていくことは、とても意義があることだと思います。

この3年間はコロナ禍でなかなか思うように事業が進められなかった市町村も

あったかもしれませんが、来年度の取組のなかに、人権教育の視点を取り入れて分野を超えた連携を試みてはどうでしょうか?

2月下旬には筑北村で人権講座(座学)とポッチャ(体験)を組み合わせ、2分野の担当指導主事が訪問依頼を受けております。分野を超えた新しい連携の方向を中信教育事務所の生涯学習課も模索していきたいと思っております。



## ②子どもが真ん中の村づくりを目指して ～木祖村の実践発表より～

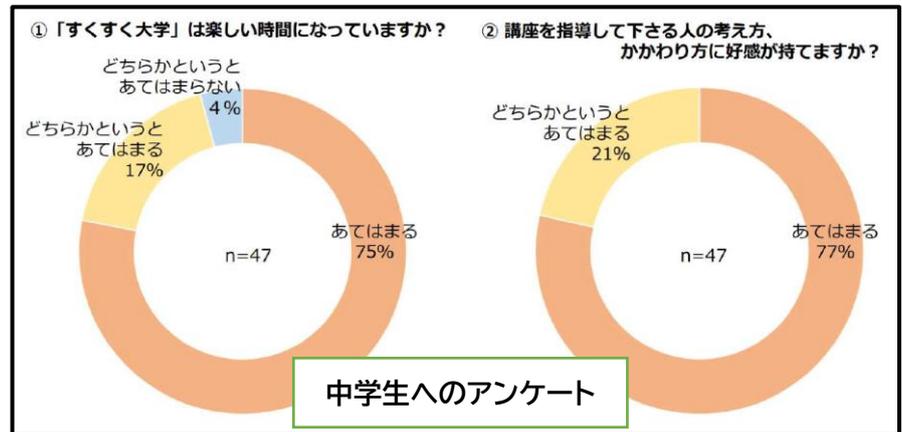


第2回担当者会（ネットワーク研究会③）では、木祖村のコミュニティスクール事業「すくすく大学」の実践発表をしていただきました。

人口減少に伴い社会教育活動を維持する困難さ、村における中学生の放課後の学びの場の少なさ、そして教員の働き方改革の推進の3つを解消するために今年度から

立ち上げた新規事業です。村内在住の方が講師となり、大人と中学生が講座に参加して活動します。その活動において得られる人権教育の視点としては「多世代交流によるあたたかな人間関係づくり」です。子どもたちは地域や大人から学び、大人も中学生との関わりの中から学ぶことがある。「人にやさしい地域づくり」の土台を作られている実践発表でした。

右は「すくすく大学」に対する中学生のアンケート結果です。新しい事業が軌道に乗るまでは大変な苦労があることと思います。しかし活動が楽しければ、そしてそこに活動の意義が見い出せれば、継続した事業になると思います。



どの市町村でも公民館活動や学社協働のコミュニティスクール事業が行われていることと思います。活動のねらいの中に人権教育の視点を取り入れていけば、「人にやさしい地域づくり」に繋がります。

### 《お知らせ》

市町村で主催する「人権講演会」や「人権学習会」などの中信地区全体への周知について、中信教育事務所を活用いただければと思います。広くネットワークを形成し、近隣市町村との繋がりを作る良い機会となりますので、中信管内の市町村へ周知したい取組や研修会などがございましたら、お声がけください。事務局として管内やブロック等にイベント情報を周知するお手伝いをします。

### 人権教育講師として出向きます！

職場や公民館、学校職員やPTAの人権研修会など。期日、時間、内容など、できる限りご要望にお応えします。

- 身近な人権問題・個別の人権問題
- 同和問題・部落史・子どもの人権について
- 参加体験型ワークショップ etc.

電話でもメールでも構いません。お気軽にお問合せください。

謝礼・交通費  
一切不要！

